

八一二）の『金沢町名帳』（金沢市立玉川図書館蔵）に酒造業を営む屋号名として確認でき、「清瀧川」の銘柄をもつ。（2）（3）も蓋板である。（4）は長方形を呈する付札状の木簡で、上部に小孔があけてある。

二 第三次調査

（1）

「

十一□
八百迄□
包_{〔叢カ〕}

径378×厚13 061

2 1 所在地 石川県金沢市木の新保七番丁・堀川町・北安江町
3 調査期間 一 一九九四年（平6）五月～一二月、二 一九

九五年四月～一二月

4 発掘機関 金沢市教育委員会
5 調査担当者 増山 仁・前田雪恵

6 遺跡の種類 集落跡・水田跡
7 遺跡の年代 江戸時代

8 遺跡及び木簡出土遺構の概要

大型の桶か樽の蓋板材で、文字の左右の材が欠損している。裏面に刃物傷が多数観察されることから、俎板として再利用されたものと考えられる。

9 関係文献

金沢市埋蔵文化財センター『金沢市昭和町遺跡I』（金沢市文化財紀要一七一、二〇〇一年）
同『金沢市昭和町遺跡II』（金沢市文化財紀要一九四、二〇〇二年）

（楠 正勝）



（金沢）

木ノ新保遺跡は、金沢市北部を流れる浅野川の南岸近くの微高地に所在する。ここで紹介するのは金沢駅東地区土地整理事業に伴って実施した第一・三次調査である。今回の調査区の南西を石川県立埋蔵文化財センターが一九九三年に発掘しており（第一次調査）、また、遺跡の北東にある久昌寺遺跡と

石川・木ノ新保遺跡

もきわめて近い。いざれも江戸時代の遺跡で、金沢城下町の北西端に位置する。

第二・三次調査では、水田とその下層に隙間なく掘り込まれた粘土採掘穴、大小の用水路、井戸、建物が検出された。遺物は、陶磁器をはじめ、木製・土製・石製・金属製・ガラス製の日用雑貨があり、ほとんどが用水路と包含層から出土した。一八世紀から一九世紀末のものが多く、上限は一七世紀、下限は一九世紀である。木製品のうち容器・刷毛・札状のもの計七九点に墨痕や墨書が、容器二点に朱書が、板状の一点に墨書きの文様がある。

木簡が出土した遺構と点数の内訳は左記の通りである。第二次調査では粘土採掘穴ではない土坑（ゴミ穴）SK一〇（二点）、小規模な用水路SD〇二（二点）、うち一点は朱書き）、SD〇三（九点）、SD〇四（五点）、SD〇一・〇三の合流部（一七点）、SD〇一・〇四合流部（一点）、遺物包含層（一八点）の計六五点、また、第三次調査では、SD〇三（二点）、大規模な用水路SX〇一（二点）。うち一点は朱書き）、遺物包含層（二点）の計一六点、総計八一点である。木簡の時期は一九世紀を主体とし、一部明らかに近代に降るものも含まれる。このほかにも漆器への金文字や磁器への漆書き、あるいは焼印のみの資料など文字資料は多数出土しているが、ここでは墨書きのもののうち文字を判読できる四二点を紹介することとする。

101	第11次調査	1
102	新屋佐兵衛門	(1)
103	今屋佐兵衛	
104	仲野勘右衛門	
105	能登園喜助	
106	村六十九郎	
107	内	
108	内	
109	内	
110	内	
111	内	
112	内	
113	内	
114	内	
115	内	
116	内	
117	内	
118	内	
119	内	
120	内	
121	内	
122	内	
123	内	
124	内	
125	内	
126	内	
127	内	
128	内	
129	内	
130	内	
131	内	
132	内	
133	内	
134	内	
135	内	
136	内	
137	内	
138	内	
139	内	
140	内	
141	内	
142	内	
143	内	
144	内	
145	内	
146	内	
147	内	
148	内	
149	内	
150	内	
151	内	
152	内	
153	内	
154	内	
155	内	
156	内	
157	内	
158	内	
159	内	
160	内	
161	内	
162	内	
163	内	
164	内	
165	内	
166	内	
167	内	
168	内	
169	内	
170	内	
171	内	
172	内	
173	内	
174	内	
175	内	
176	内	
177	内	
178	内	
179	内	
180	内	
181	内	
182	内	
183	内	
184	内	
185	内	
186	内	
187	内	
188	内	
189	内	
190	内	
191	内	
192	内	
193	内	
194	内	
195	内	
196	内	
197	内	
198	内	
199	内	
200	内	
201	内	
202	内	
203	内	
204	内	
205	内	
206	内	
207	内	
208	内	
209	内	
210	内	
211	内	
212	内	
213	内	
214	内	
215	内	
216	内	
217	内	
218	内	
219	内	
220	内	
221	内	
222	内	
223	内	
224	内	
225	内	
226	内	
227	内	
228	内	
229	内	
230	内	
231	内	
232	内	
233	内	
234	内	
235	内	
236	内	
237	内	
238	内	
239	内	
240	内	
241	内	
242	内	
243	内	
244	内	
245	内	
246	内	
247	内	
248	内	
249	内	
250	内	
251	内	
252	内	
253	内	
254	内	
255	内	
256	内	
257	内	
258	内	
259	内	
260	内	
261	内	
262	内	
263	内	
264	内	
265	内	
266	内	
267	内	
268	内	
269	内	
270	内	
271	内	
272	内	
273	内	
274	内	
275	内	
276	内	
277	内	
278	内	
279	内	
280	内	
281	内	
282	内	
283	内	
284	内	
285	内	
286	内	
287	内	
288	内	
289	内	
290	内	
291	内	
292	内	
293	内	
294	内	
295	内	
296	内	
297	内	
298	内	
299	内	
300	内	
301	内	
302	内	
303	内	
304	内	
305	内	
306	内	
307	内	
308	内	
309	内	
310	内	
311	内	
312	内	
313	内	
314	内	
315	内	
316	内	
317	内	
318	内	
319	内	
320	内	
321	内	
322	内	
323	内	
324	内	
325	内	
326	内	
327	内	
328	内	
329	内	
330	内	
331	内	
332	内	
333	内	
334	内	
335	内	
336	内	
337	内	
338	内	
339	内	
340	内	
341	内	
342	内	
343	内	
344	内	
345	内	
346	内	
347	内	
348	内	
349	内	
350	内	
351	内	
352	内	
353	内	
354	内	
355	内	
356	内	
357	内	
358	内	
359	内	
360	内	
361	内	
362	内	
363	内	
364	内	
365	内	
366	内	
367	内	
368	内	
369	内	
370	内	
371	内	
372	内	
373	内	
374	内	
375	内	
376	内	
377	内	
378	内	
379	内	
380	内	
381	内	
382	内	
383	内	
384	内	
385	内	
386	内	
387	内	
388	内	
389	内	
390	内	
391	内	
392	内	
393	内	
394	内	
395	内	
396	内	
397	内	
398	内	
399	内	
400	内	
401	内	
402	内	
403	内	
404	内	
405	内	
406	内	
407	内	
408	内	
409	内	
410	内	
411	内	
412	内	
413	内	
414	内	
415	内	
416	内	
417	内	
418	内	
419	内	
420	内	
421	内	
422	内	
423	内	
424	内	
425	内	
426	内	
427	内	
428	内	
429	内	
430	内	
431	内	
432	内	
433	内	
434	内	
435	内	
436	内	
437	内	
438	内	
439	内	
440	内	
441	内	
442	内	
443	内	
444	内	
445	内	
446	内	
447	内	
448	内	
449	内	
450	内	
451	内	
452	内	
453	内	
454	内	
455	内	
456	内	
457	内	
458	内	
459	内	
460	内	
461	内	
462	内	
463	内	
464	内	
465	内	
466	内	
467	内	
468	内	
469	内	
470	内	
471	内	
472	内	
473	内	
474	内	
475	内	
476	内	
477	内	
478	内	
479	内	
480	内	
481	内	
482	内	
483	内	
484	内	
485	内	
486	内	
487	内	
488	内	
489	内	
490	内	
491	内	
492	内	
493	内	
494	内	
495	内	
496	内	
497	内	
498	内	
499	内	
500	内	
501	内	
502	内	
503	内	
504	内	
505	内	
506	内	
507	内	
508	内	
509	内	
510	内	
511	内	
512	内	
513	内	
514	内	
515	内	
516	内	
517	内	
518	内	
519	内	
520	内	
521	内	
522	内	
523	内	
524	内	
525	内	
526	内	
527	内	
528	内	
529	内	
530	内	
531	内	
532	内	
533	内	
534	内	
535	内	
536	内	
537	内	
538	内	
539	内	
540	内	
541	内	
542	内	
543	内	
544	内	
545	内	
546	内	
547	内	
548	内	
549	内	
550	内	
551	内	
552	内	
553	内	
554	内	
555	内	
556	内	
557	内	
558	内	
559	内	
560	内	
561	内	
562	内	
563	内	
564	内	
565	内	
566	内	
567	内	
568	内	
569	内	
570	内	
571	内	
572	内	
573	内	
574	内	
575	内	
576	内	
577	内	
578	内	
579	内	
580	内	
581	内	
582	内	
583	内	
584	内	
585	内	
586	内	
587	内	
588	内	
589	内	
590	内	
591	内	
592	内	
593	内	
594	内	
595	内	
596	内	
597	内	
598	内	
599	内	
600	内	
601	内	
602	内	
603	内	
604	内	
605	内	
606	内	
607	内	
608	内	
609	内	
610	内	
611	内	
612	内	
613	内	
614	内	
615	内	
616	内	
617	内	
618	内	
619	内	
620	内	
621	内	
622	内	
623	内	
624	内	
625	内	
626	内	
627	内	
628	内	
629	内	
630	内	
631	内	
632	内	
633	内	
634	内	
635	内	
636	内	
637	内	
638	内	
639	内	
640	内	
641	内	
642	内	
643	内	
644	内	
645	内	
646	内	
647	内	
648	内	
649	内	
650	内	
651</		

用水路の印

・「米□□ □□」

138×31×7 011

・「六月□□□」

138×31×7 011

(3) 「梅 (墨書部分△陰刻△朱墨△填墨) 径67×厚4.5 061

37×28×1.5 021

(11) 〔加賀国金沢堀川角場町居住
安江八幡
安政四年□
(上部△朱方印「安江／八幡社」△リ)」

(4) 「御□」
・「正」

(5) 「イ
○ 九」
・「イ
○ 九」

52×44×8 021

(12) 〔明治六年□月
祠印 有岡益□ (朱印)
祠掌 葛城慎□ (朱印)
〔△△〕〕

90×60×4.5 011

(6) 「鑑□」
・「荒
河□」

(46)×(37)×8.5 065

・「△
△△」
・「△
△△」

117×59×5 061

(7) 「□
△△」
・「天三 十一十一」

(112)×(25)×2 019

用水路の印

(8) 「矢田」 (朱書)
(文字△周囲△精田△印△)

径127×厚1 061

用水路の印

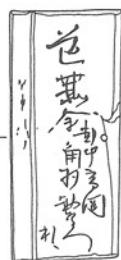
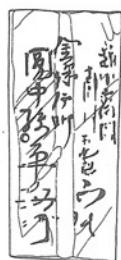
(9) 「○宗立」
・「○仲間連」
(焼印)

62×21×3 011

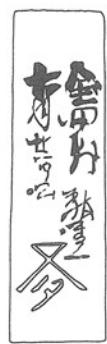
(15) 「米米」
・□□□」

(142)×18×4 059

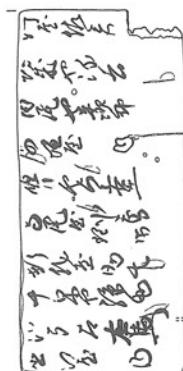
2005年出土の木簡



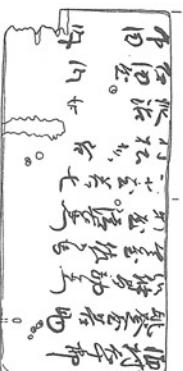
-(28)



-(21)



-(1)



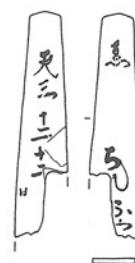
-(10)



-(15)



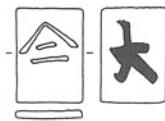
-(7)



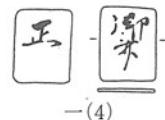
-(2)



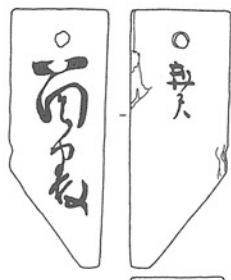
-(26)



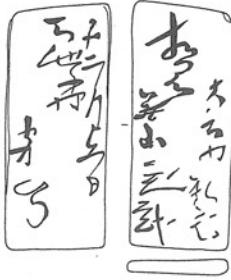
-(19)



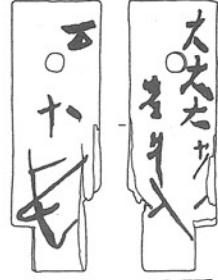
-(4)



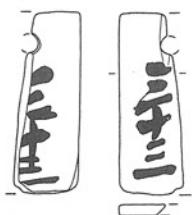
-(29)



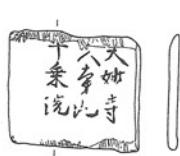
-(23)



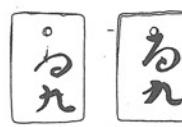
-(27)



-(25)



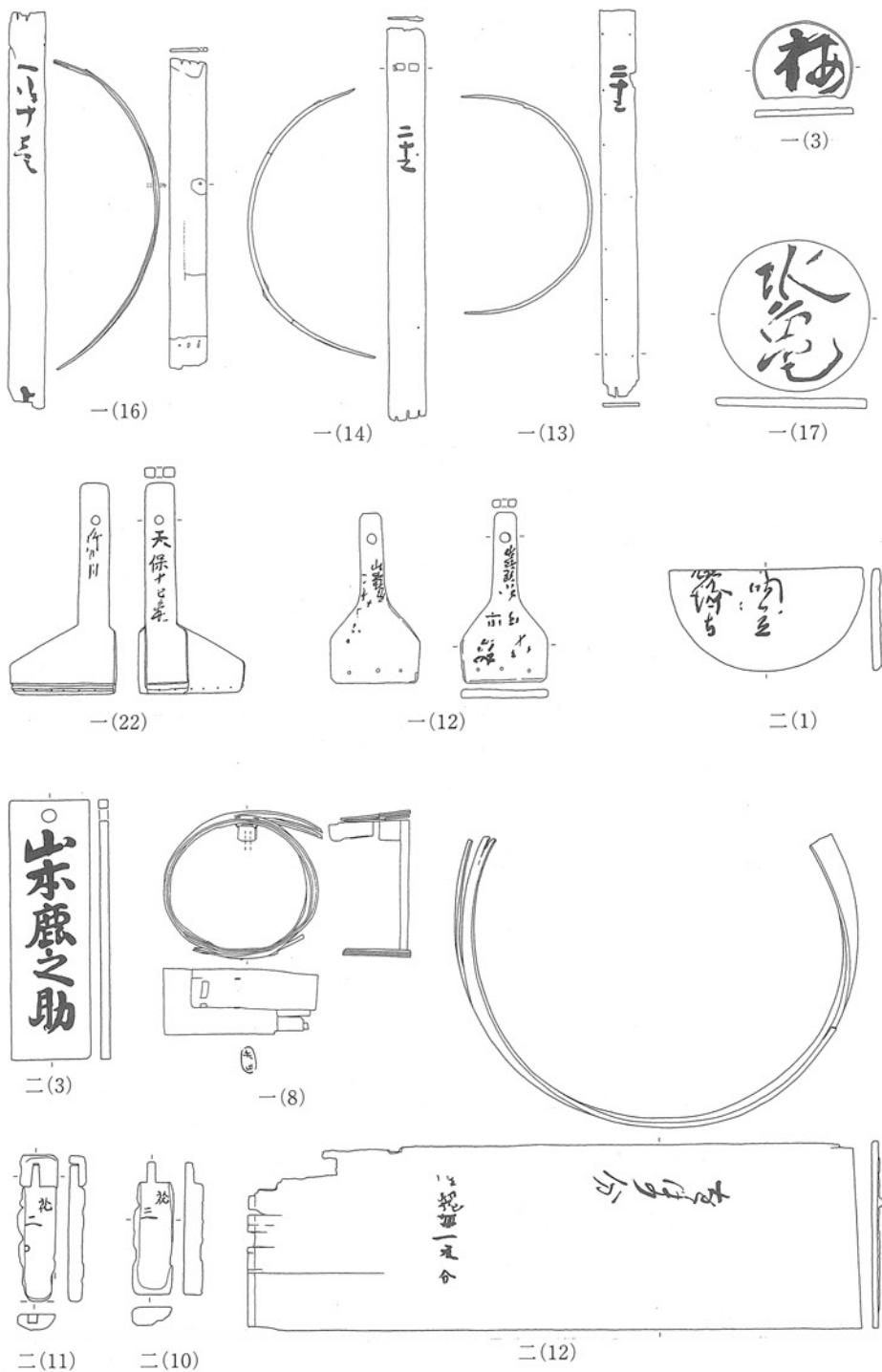
-(30)



-(24)



-(5)



(28)

・「芭蕉□ 越中高岡
角村勘右衛門
札」

大溝◎×○！

180×55×6 011

150

・「越中高岡
角村勘右衛門□」

金沢片町
円中孫平□□□□□

124×55×7 011

「。山本鹿之助」

60×40×6.5 021

・「○□11」

(29)
・「○□尺」
・「○百番」

125×48×9 051

・「横井」
・「十月吉日」

63×22×4 021

(30)

大妙寺
久遠院
乗院

(59)×(63)×4.5 081

「□□本
□□□」

55×(30)×5 081

一一
第三次調査

溝の△○!!

(7) 〔 生国加賀金沢田丸町居住
河原市屋□□男
安江八幡社氏子 河原鉄太郎
□□□年正月六日出生
(上部)朱方印「安江八幡社」アリ 〕

91×61×5 011

(6)

・「祠官 有岡益友
祠掌 葛城慎吾
〔朱印〕
〔朱印〕」

91×(16)×4 081

(1)

□納
濟寺

133×厚6 061

・「祠官 有岡益友
祠掌 葛城慎吾
〔朱印〕
〔朱印〕」

91×61×5 011

(2)

・「大」
○福村辰三郎
・「○〔刻印〕」

75×38×8 021

・「加賀国金沢長田町
〔朱印〕」

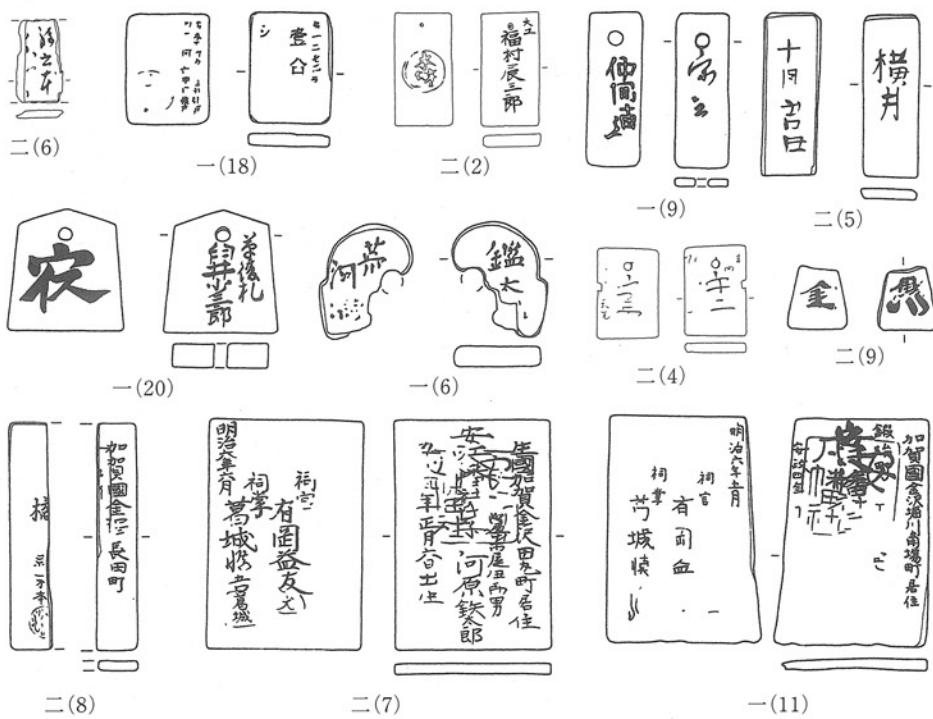
91×(16)×4 081

(9)	・銀将	92×27×13 065
(10)	・金	102×26×11 065
(11)	「花」 [11]	
(12)	包金層	
	をはか分	
	合	
	径274×高112×厚4 061	

第二次・第三次両調査出土木簡には互いに関連するものがあるの
で、一括して紹介する」ととする。

一(1)は歴名板である。欠損している上部以外は整形されており、
両面とも一〇家一〇人または一一人、合計一〇家二一人の名が列記
されている。

一(1)は、一(7)(8)とともに氏子札と考えられる。法量が酷似してお
り、規格性が高い。氏子札とは、一八七一年の戸籍法により、住民
を神社の氏子として登録させ、神社からその証明として発行したも



のである。二(7)はほぼ完形である。中央に大きく書かれた「河原鉄太郎」について、左に誕生日が、右一行目に住所、二行目に戸主との続柄が書かれている。上部の墨書と朱印から安江八幡社の発行とわたり、裏面に神官二名の署名がある。安江八幡社は江戸時代以前は安江郷の総社で、当遺跡の南東、城の北東に鎮座していたが、江戸時代初期に村地ごと北西に移つており、その結果、当遺跡の南に近接することになった。一(11)も同じく安江八幡社発行のもので、法量や書式がほぼ同じである。右二行目の戸主とその続柄を示す欄に地名が書かれていることから、堀川角場町の住人某は、鍛冶町在住の某から分家したものと考えられる。そうであれば、二(7)は田丸町町内で分家したため、戸主の住所は記述を省略したとも考えられる。二(8)は欠損している。長田町在住の某の氏子札で、裏書きの神官の苗字が橘であることから、おそらく長田神社（現長田菅原神社、当遺跡の南西、城下町の西部）が発行したものであろう。

一(20)は草履の持ち主を示す草履札である。将棋の駒形の薄板に一孔をあけ、表面に大きく「草履札」と名前「臼井少三郎」が書かれ、裏面に苗字の「ウスイ」を組文字にした記号のようなものが書かれている。草履札の類例としては本町一丁目遺跡出土の方形のものがあり、表面に「草履札」、裏面に名前が書かれている（本誌第二七号）。

一(22)は刷毛に年号が書かれたもので、天保一〇年（一八三九）を

表している。金沢市では本町一丁目遺跡でも刷毛に「文政十年」（一八二七）と記された例がある（本誌第一七号⁽³⁾。但し、「寛政」は「文政」の誤植）。

一(30)は上部が欠損している。日蓮宗の寺院名が列記されている。二(1)は曲物の蓋である。一行目は「浜納豆」であろう。曲物に「浜納豆」と記す例は、報告書作成時点で金沢市内に二七例ほどあり、送り主はすべて寺院である。二行目は上部が欠けているので一文字は判読できないが、二文字目が「済」で金沢市周辺にある寺院は、現在金沢市にある廣済寺しかない。廣済寺は浄土真宗の寺で、江戸時代以前は今のが廣済城にあたる山崎山にあり、金沢御堂の中心的存在であったと伝えられる。その後、安江町（当遺跡の南東、城下町の北西部）に移り、さらに寛永一四年（一六三七）に扇町（当遺跡の南東、城下町の南東部）に移り現在に至っている。

9 関係文献

金沢市埋蔵文化財センター『木ノ新保遺跡Ⅱ』（金沢市文化財紀要

二二九、二二〇五年）

（前田雪恵）